

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ノースウエスト大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	CELE プログラム		
報告書提出日	2019年 9月 18日		
留学予定期間	2019年 8月～2020年 5月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 0（円）/合計
 航空券代： 20万（円）/合計 20万円
 ビザ申請関連費： 4万（円）/合計 24万円
 その他（生活用品）： 2万（円）/合計 26万円
 ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい
 「はい」の場合、いくら残高証明書を作成しましたか？ 70万（円）

渡航前の費用はそこまでかからないが、到着してから 1 か月の間に支払い必須の費用（今期の寮費、保険代、アクティビティー費用 etc）だけで自分は 5868 ドル（60 万円ほど）かかり、それに遊びや買い物にかかるお金を加えると、毎月 8 万円の奨学金を貯めなければセメスターの間の寮費、次のセメスターの寮費が払えなくなってしまう。

1.2. 渡航について

神大からノースウエスト大学に行くのは自分一人だけだったため、成田空港から同じ場所に行く人はおらず、家族や友人と最後の時を過ごし、飛行機に乗った。アメリカの空港に着いた後税関まで自分 1 人で通過し、大学から指示されている待ち合わせ場所まで少し移動しなければならず、不安はあったが問題はなかった。待ち合わせ場所では大学の看板を持ったスタッフが歩き回っているので声をかければ問題ない。そこで日本の他大学から来た人たちと会って大学まで車で送ってもらった。ほかの大学からは数人ずつできており、大学内でコミュニティーを形成しているため一人での時間を過ごした。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

大学の敷地内に寮があり、留学生は強制的に現地人のルームメイトと一緒にそこに住まわせられる。学内のため手続きなどはないが、部屋はただの箱のため、生活用品は工夫して飽きないようにする必要がある。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

特に何もしていない。日本にいるときに外務省の HP の手続きは勧められる

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

大学に着いた翌日から 1 週間程度様々なオリエンテーションが行われた。自分はカルチャーショックで休みがちだったが特に何も言われなかった。友達を作るいい機会なのでオリエンテーションには参加することを勧めます。
 現地の新生と混合で「オリエンテーショングループ」というグループ分けをされて遊んだり話す機会があるが、何を言っているのか全くわからないので、留学生であることをアピールする必要があ

る。プレイスメントテストは文法、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの技能のテストをした。結果によって何かが変わるわけではない。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

プレイスメントテストの結果も踏まえて自分は、現地の流暢な会話を聞き取れるようになることと、ライティングのスキルを主に向上させようと思った。学問以外にも筋トレ、ピアノ弾けるようにする、筆記体で上手に書けるようにするなど、目標をいくつか立てている。人脈を広げて海外の当たり前を、身をもって体感、順応させることも目的の1つである。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

前期は CELE クラスという留学生向けの語学クラスだけをとるよう言われていたのだが学校からの許可が降りたため自分は現地学生がとる普通のクラスも履修した。CELE クラスは日本、韓国、中国の学生しかおらず、たまに退屈に感じることもある。現地の授業は難しいが学べることが多く、勉強になることがとても多い。

3.3. 今月の学習・研修目標

先生と周りの人たちに自分を認知してもらおう事と、日本人以外にも友達を作って時に自分を助けてくれる存在を作っておくと安心すると思うため、授業に慣れつつ人間関係を築いていきたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	Comprehensive English 9:20~11:20 礼拝 11:30~12:30 Academic writing 13:40~14:30
火	
水	Comprehensive English 9:20~11:20 礼拝 11:30~12:30 Academic writing 13:40~14:30 Information Systems Management 18:00~20:50
木	
金	Comprehensive English 9:20~11:20 礼拝 11:30~12:30 Academic writing 13:40~14:30
土	
日	

4.2. 授業について

・ Comprehensive English (①)

総合英語。リスニングをしたり文法を学んだり、発音も学ぶ。文法もやるが日本人は文法が強い人が多いため難しいと感じないかもしれない。

・ 礼拝

単位はもらえないが必須の時間で、1時間礼拝をする。礼拝のイメージを覆された。1学期のうちに35回以上出席しなければならない。

・ Academic Writing (②)

ライティング(エッセイなど)の書き方を学び実際にいくつも作成する。自分にとってはこの授業は難しい。書き方などは教われるが、ある程度知識を持って行ったほうが安心できる。

・ Information Systems Management(③)

現地の人向けの普通の授業の1つ。教授が元マイクロソフトの社員で、人数は20人弱。話している内容は聞き取るのが難しいが、パワポを使ってくれるのでわからない単語をメモしてエクセルで辞書を作って覚えるようにしている。夜の3時間というへんな時間割だが、休憩が何度かあり、休憩が終わる時間にピザのデリバリーが来てピザを食べながら授業をするなど、日本と違ってとても教授との距離が近く、安心して授業に参加できる。内容はコンピュータの中の様々な物の役割や使い方、比較などについて。(例えば、ソフトウェアとハードウェアの違いなど。)

4.3. 予習・復習・自習について

①は、出された宿題を行うか、特に難しいことはない。ワークブックの答えがないので、正解しているのかわからないため、たくさんの人と自分の答えを照らし合わせる必要がある。

②も宿題が出る。2日間でエッセイを1つ完成させる。などの宿題が出るため、今までライティングを学んでこなかった自分には難しいが、現地の友人が手伝ってくれたりして何とか出来ている。

③は宿題は出ないが、1度の授業で拾ったわからない単語をエクセルにまとめるという自習をしているため、結構時間がかかる。単語の知識が増えるし、専門用語を知ることができるからおすすめ。

①、②は宿題以外に予習を行っていないが、③は次の授業までにあるネットの記事を読んでおくという宿題ではないが予習のようなものが与えられるため、それを読んで理解しておく。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内の寮
8月の気候は日本より過ごしやすく、朝と夜は冷えることもある。9月中旬の今ですでに15℃くらいの時間もあるため、薄手、厚手の両方の服が必要になる。こっちで買ってよい。	
食は三食全部学内の食堂で食べることができる。寮費に食費が含まれているためそこでお金はかからない。ただおいしい食事は10回に1回。メニューはいろいろあるから慣れてくればきつなくなる	
住は、ルームメイトと同じ部屋で個人の部屋はないため一人の時間はほとんどない。本当に箱。シャワーやトイレもフロアで共用。毛が多い。シャワーの水の勢いが弱い。トイレがよく詰まっている。	

5.2. 課外活動について

休日や授業の後はシアトルに行ったりベルビューというダウンタウンに買い物に行ったりする。寮の目の前にテニスコートとバスケットボールのコートがあるから運動もできる。神大と違ってジムも無料で利用できるし、24時間開いているピアノルームというピアノやドラムが置いてある部屋もあるため、退屈はあまりしない。自分はテニスをやったことがないがテニスクラブに入って週2回テニスをしたり、ルームメイトが運営しているアジア人のクラブに入ってこれから活動したり、様々なことを行っている。

5.3. 現在までの感想

来てすぐは日本との違いに心が落ち着かなかったが、やはりアメリカ人はフレンドリーで年上年下関係なく通りすがりに挨拶してくれたり会話してくるため、嫌でも友達はできる。また、ルームメイトのつながりで新しい出会いもできるため、慣れてからは毎日楽しく過ごしている。ついてから必要なものがあれこれ出てきてお金の面が心配。前期10単位落としていたから帰ってからの心配。単位認定できるように履修を工夫して組まなければいけないというプレッシャーがある。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	経営学部	国際経営学科	学科専攻
派遣先大学 (国)	ノースウエスト大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	CELE プログラム		
報告書提出日	2019年11月13日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

生活を始めてここまでで難しいと感じてきたのはリスニングとスピーキングです。英語の授業で先生が話す英語は自分たちに理解できるようにはっきり話してくれるが、現地の友達や映画などを見る時に聞く英語は速かったりはっきりしなかったりするためまだ理解できない場面が多くある。今はボキャブラリーを増やして理解できる英語の単語数を増やすことが目標。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

ライティングは基礎やテクニックを学ぶうちに上達してきているが、スピーキングとリスニングはまだまだ努力が必要。冬休みは何も予定がないため英語の映画や動画を見てリスニングを鍛える。字幕をつけてリーディングとボキャブラリーを増やす。

1.3. 今月の学習・研修目標

英語のクラスは小テストや課題で9割以上の点数を取り、課題を期限までに提出する。

2. 学修について

2.1. 授業について

Comprehensive English

総合英語はいろいろなスキル（リスニング、文法）をまんべんなく学習するため決まった進捗はない。リスニングはテッドトークという番組を視聴して話の内容をまとめ質問に答えることが多い。文法はテキストと先生の解説で進んでいる。また、これらの回答を周りの生徒とシェアすることが会話の練習にもなっている。テッドトークのリスニングは難しいが文法は理解できている。

Academic writing

最近アーギュメントエッセイなど少し難しい言葉が出てくるエッセイを書くようになり、内容も多様性について賛否を述べるなど複雑になってきている。

Information Systems Management

課題と中間テストを終え次の課題に取り組んでいる。IS (information systems) の失態の事例についてのレポートが課題。授業内の英語は上の CELE のクラスよりはるかに速く聞き取りが難しいがわからない言葉を調べ、周りに助けられながらなんとかついていっている。

2.2. 予習・復習・自習について

Comprehensive English と Academic Writing は出された宿題を今までと同様に期限までに終わらせ、次週は授業内でわからなかった単語を調べてリスト化する。

Information Systems Management は話が早く内容に追いつけないため、授業で使ったパワーポイントをネットから保存し見直している。

2.3. 語学力について

言いたいことを頭で素早く組み立てることはできるようになったが、適切な単語でそれを言い表せないため、ボキャブラリーを増やす必要がある。あとは上記の通りリスニングが課題。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	寮
	ルームメイトと楽しく過ごしている。アマゾンで日本のスープや焼きそばなどを買ったため、日本食が恋しくなったらそれらを食べている。ケトルと冷蔵庫を使う機会が多くあるのですごく便利。
	一番上に着る上着を日本から持って行っておらず、シアトルの気温はまだマイナスに届いていないが曇りや雨の日が多く風もあり、買うつもりでいる。
	寮で暇な夜は深夜 2 時まで開いている建物で勉強をしたりパソコンで映画を見たりし、そのあとは 24 時間開いているラウンジなどで時間をつぶしている。地下に共同のキッチンもあるため深夜におなかですいたら何かを作って食べている。

3.2. 課外活動について

休日は課題をするかシアトルやベルビューに買い物に行く。先日 4 泊 5 日でロサンゼルスへ旅行に行った。ハロウィーンときは寮の人たちと寮を装飾して学外の一般の子供たちが遊びに来た。

自分が所属しているクラブは初回以来活動の知らせがなく、何もしていない。

3.3. 現在までの感想

冬休みのクリスマスから 1 月 2 日くらいまで寮に住むことができるか確かではないためもしかしたら住む場所がなくなる期間が来る。ゼミの 2 次募集について情報を友人から集めている。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（1 月）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ノースウエスト大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	CELE プログラム		
報告書提出日	2020 年 1 月 20 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

現地の友人をより多く作り、時間を共に過ごす機会を増やすことを通じて英語力を向上させる。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

12 月の月上旬に前期の科目のテストやプレゼンテーションがあり、それに対する学習を主にした。結果は全科目単位を取得できたので、今学期も同じく勉強したい。

1.3. 今月の学習・研修目標

新しい科目は英語学習 2 つ、専門科目 2 つ、前期より 1 科目多いため、タイムスケジュールをしっかり管理し、やることを忘れずに 1 つ 1 つこなしていく。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	春学期
月	Chapel(11:20~12:20)
火	Reading and Vocabulary (9:30~10:45) Social Media Marketing Strategy (11:00~12:15) General Psychology (12:30~13:45) Speaking (14:00~15:15)
水	Chapel(11:20~12:20)
木	Reading and Vocabulary (9:30~10:45) Social Media Marketing Strategy (11:00~12:15) General Psychology (12:30~13:45) Speaking (14:00~15:15)
金	Chapel(11:20~12:20)
土	
日	

2.2. 授業について

どの科目も 1 度しか授業をしていないが、

Reading and Vocabulary

テキストを読解や音読し、出てくる単語の類義語や対義語に着目する。

Social Media Marketing Strategy

SNS と現代社会のつながりに着目している。まだ内容には入っていない。

General Psychology

心理学の基礎科目。心理学とは何かについて学習した。

Speaking

Listening も含まれていて、TEDTALK を見て似たテーマについて自分の意見をまとめてプレゼンする機会が何度もある科目

Chapel

時間が 2 つに分けられていてどちらに出席してもよいが、1 学期中に出席しなければいけない最低ラインが設けられている。主に前半は賛美歌を歌い、後半は話を聞く。内容は聖書に関する話だったり関係ない話だったり様々である。

2.3. 予習・復習・自習について

Reading and Vocabulary

テキストから宿題が出ればやる。復習はその時の授業で出てきた知らない単語を次の授業までに覚える。

Social Media Marketing Strategy

テキストを読んでわからない箇所を理解できるように勉強することと、出される課題をこなす。

General Psychology

授業内にクイズがあるため、内容を漏らさずメモを取る。内容を授業の後に復習する

Speaking

主にプレゼンテーションに向けて自分の意見を正確に伝えるようなものを作る。

2.4. 語学力について

思っていることや言いたいことを伝えるときにかかる時間は前より短くなっている。また現地の友達と連絡を取るによってスラングや知らなかった便利な言葉などを知って正確に伝えられるようになってきた。しかし聞き取りはまだまだ難しく、ドラマや映画をたくさん見るようにしている。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

寮のご飯は飽きるがまずくはないので何とも思わない。雪が降ったが自分はダウンジャケットのような分厚い服を持っていなかったため寒かった。今は重ね着をしているから苦労はしていない。新学期が始まり、韓国や中国からの新しい留学生が来たり、部屋の模様替えをしたりして新鮮な生活をしている。

3.2. 課外活動について

授業を週 2 日にまとめたため、暇な時が多い。これから課題が増えて勉強に時間を使うと思うが、暇なときは Netflix で映画を見たり先日買った英語の本を読んだりしている。冬休みはアメリカ人の友達が家に招いてくれてそこでずっと過ごしていた。

3.3. 現在までの感想

友達が増えて楽しいから日本に帰りたくないです。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経営学部	学 科	国際経営学科	3	年次
派遣先大学 (国)	ノースウエスト大学 (アメリカ)				
所属プログラム・ 学部・研究科	Center for English Language Education	履修言語	英語		
留学期間	2019年8月～2020年3月				
報告書提出日	2020年5月5日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	8月26日 ～12月6日 (14週)	12月7日 ～12月13日	大学から CELE クラスの一覧が送られてくるため、その中から選択し、現地で英語のテストを受けその結果をもとに変更もできる。学部の科目はウェブサイトから履修できる。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Information Systems Management	35 時間	現地の生徒向けのクラス。インターネットの情報やシステム、セキュリティーについて学んだ。パワーポイントで内容の説明が行われ、その内容を聞き授業の最後に確認テストが毎回行われる。中間と期末の2回エッセイを書いた。3人ほどのチームに分かれてウェブサイトを作る課題もあった。
		2.5(時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	
Fall Semester	Academic Writing	35 時間	CELE クラスの1つ。週に3回あり、ライティングの基本を学んだ。毎週課題が出て、数週間かけて1つのエッセイを完成させる。この授業の生徒もほとんどが日本人、韓国人、中国人だが、テーマについて会話する機会もあるため、会話の練習にもなる。
		0.83(時間/回) ×3(回/週) ×14(週)	
Fall	Comprehensive	70 時間	CELE クラスの1つ。週に3回あり、文法、リスニング、リ

Semester	English III	1.67(時間/回) ×3(回/週) ×14(週)	ーディングなど様々な技能を学ぶ。生徒は日本人、韓国人、中国人などが大半だが、授業中は他の生徒と会話をするため会話の練習にもなる。テキスト教材を用いたり、ビデオを見て問題を解くこともあった
----------	-------------	---------------------------------	---

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

沢山英語を使う事を心掛けていた。この大学はルームメイトと大学内の寮で生活することが強制なので話す機会は多くあった。授業の事では、わからない単語をエクセルにまとめていた。英語のクラスでは先生はゆっくりわかりやすい英語で話してくれていたためわかりやすかったが、そのほかのクラスはスラングや早い会話についていくのに必死だった。そのため、わからない単語を拾って次の授業までに意味を調べて覚えようという事をしていた。

1.4. 語学力について

行く前は伝えたいことが頭の中にすぐ浮かばず、よく引っかかっていたが、留学を経て言いやすいことを最低限伝えられるようになった。語彙はまだまだ乏しいが、それでも日常を支障なく過ごせるようにはなった。スラングなどを使って友達とチャットや会話をすることで、新しい言い回しなどを覚えることができた。留学中は主に聞き取ることに、たくさん話すことを意識した。日本での勉強のような単語帳を読んで語彙を増やすという事は時間がもったいないと思い、最低限にしていた。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

英語の面では主に語彙力と会話する力がついた。わからない単語をエクセルにまとめたおかげで、新しい語彙をたくさん覚えることができた。途中で終わってしまったが、後期には他にも心理学やソーシャルメディアの勉強もしており、自分の興味をより深めることができた。また、アメリカ人の積極性を実感したことによって、恥ずかしがらずに物事を言えるようになったり、人の個性などを尊重できるようになった。文法などの基礎知識もより深く、感覚的に理解できるようになった

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

ほとんどの学生が寮で生活していて、大学の規模も小さいため皆仲が良くなり、勉強の時間を確保するのに自制心が必要になる。自分は遊びすぎて、勉強の時間を確保できなかったのが反省点として残った。英語の授業の課題でも、ボリュームがある場合や難しいものもあるので、授業内で友達を作るのがいいと思う。また、寮から教室まで徒歩で5分とかからないので、ぎりぎりまで寝てしまい、よく授業に遅刻や、寝坊で行けないという事があったため、夜更かしせずに、時間に余裕をもって行動すると思います。しかし、CELEの先生たちは優しいので、授業でわからないことなどはどんどん聞くと良いと思います。

2.3. 留学生活で得られたもの

様々な国の人たちと仲良くなることができた。また、今までよりポジティブで素直に物事を見ることが出来るようになった。アメリカでも最後のほうはオンラインで授業をしていたのだが、強制ではなかったにもかかわらず全員顔を映し、積極的に発言をしていた。その光景は通常授業の時にも見ることもできた。恥ずかしがらず、意見を言えるように自分もなれた事は大きな収穫であった。日本では見ることのできない多様性や、それを尊重しあっている光景などを目にするによってその大切さを初めて体感した。自由で他人に干渉されないアメリカ人のように、周りの目を気にしないよう生きようと思えた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

ルームメイトにデビットカードを約 400 ドル使われてしまったことがある。自分の貴重品管理が甘かったのだが、2人から4人で1つの部屋を使い、仲良くなることはできるが、それでも自分の貴重品の管理は徹底したほうが良いと思う。

また自分はアメリカに到着してすぐにナーバスになってしまい、オリエンテーションに出席しなかったため友達を作る機会を失いがちだった。今思うと勿体ないと感じるので、最初から勇気を出して友達を作る機会を作ることをお勧めします。また、CELE クラスはアジア人しかいないため、どうしても最初の方にできる友達は韓国人や中国人になると思う。もちろんそこでも英語を使う機会はあるのだが、もっと生きた英語を話したり習得したいと思うのならば、ルームメイトや CELE 以外の授業を通じて現地人の友達を作ることをお勧めします。みんな車を持っているので、夜などに近くのハンバーガーを食べに行ったり、遠くまでドライブできたり、行動範囲も広がるのでお勧めです

寮のご飯に最初は慣れないと思うので、日本食を持っていくと良いと思う。寮のカフェでは食事が出る時間は決まっているため、その時間以外に食べたいという場合は緑色のお弁当箱を5ドルで1セメスター借りることができるので、それに食べ物を入れて持ち運ぶといいと思います。誰にも縛られない生活なので、生活習慣や食生活は自分で管理しなければいけません。アメリカの食べ物は高カロリーなので太らないように定期的に大学内の無料で利用できるジムで運動しましょう。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月5日	
派遣先国	アメリカ	
派遣先大学	ノースウエスト大学	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：() <input type="checkbox"/> 語学研修 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (Center for English Language Education)	
本学での所属	経営学部	国際経営学科・専攻
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 7ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 1)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(1人のルームメイトと箱のような部屋。シャワー、トイレは共用)
4	入居時手続き	(ウェブサイトから支払い、部屋の暗証番号を教えてください。)
5	費用(月額)	(75000)円
6	食費(月額)	<input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他(10000)円
7	支払方法	(ウェブサイト)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他()
10	周囲環境	(大学から徒歩1分にバス停があり、そこから40分ほどでシアトルへ行けます。)
11	アクセス	(シアトルからバスで40分程度)
12	留学中の住居に関して アドバイス	(はじめは本当に何も無い。冷蔵庫とティファールはおすすめ)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(大学から配布された)
4	自宅のインターネット 接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット 接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

Ⅲ. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	110 （ドル）/月
2	食費	100 （ドル）/月
3	交通費	10 （ドル）/月
4	通信費	50 （ドル）/月
5	娯楽費	200 （ドル）/月
6	図書費	0 （ドル）/月
7	学用品（教科書など）	40 （ドル）/月
8	被服費	100 （ドル）/月
9	医療費	100 （ドル）/月
10	雑費・その他	100 （ドル）/月
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	4500 （ドル）/月
12	ビザ申請関連費	30000 （円）/月
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	150000 （円）/月
14	その他	0 （円）/月
15	留学全日程に要した総額（概算）	2000000 円/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時： 30000 円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	していない
18	お金に関するアドバイス （今後留学をする学生に対して）	現金は最小限でいい

Ⅳ. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (9か月分で100000円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	バファリン

Ⅴ. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 服、タオル、現地通貨、日本からのお土産（扇子や箸）
2	現地で購入したもの 日用品（ベッドシーツや布団も）バスケットシューズ
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの ドライヤー、ティッシュ

Ⅵ. 留学先で困ったこと

自分で車を運転できないので遠出が大変。

Ⅶ. その他、後続の学生へのアドバイス

最初は部屋に何も無い状態なので、好きにコーディネートしましょう。冷蔵庫やティファールはおすすめです。ルームメイトと仲良くなっても、貴重品の管理は徹底したほうが良いです。